

## 巻頭言

## 今後のブロック講演会に関して

新型コロナウイルスが収まりを見せないまま 2021 年度を迎えました。コロナ禍での三密を避けるため、講演会も Web での開催が主流となり会場に集まる集合研修は行われなくなっております。

PCP 研究会ブロック講演会も 2020 年度下期よりオンラインでの Web 開催へと変更となりました。さらに、2021 年度からは各ブロックで上期・下期各 1 回行っていた講演会を、全国一律で上期・下期各 2 回の計 4 回の講演会開催へと変更となりました（講演会開催変更についての詳しい内容は、この後に記事がございますのでそちらをご覧ください）。オンラインライブによる講演がメインとなり、当面の間は症例検討等のグループワークは行わない方針です。

一方で、PCP 研究会の講演会ではグループワークが付き物で講演を聞くだけでは PCP らしさが無いとの声も聞こえてきております。グループワークでは、自分の意見を伝える力や他者と協力して課題に取り組む力を向上させるなど、薬剤師の知識の向上だけではない効果があります。また、顔を合わせて話し合いをすることで、仲間意識も向上しみんなで頑張っていこうという気持ちにさせてくれます。

これまで、PCP 研究会もグループワークに力を入れ行ってきました。今後の集合研修がいつから出来るのかはコロナの状況次第ではありますが、Web 上でのグループワークなども行っていく必要を考えなくてはなりません。グループワークは当面の間中止となりますが、近い将来に再開できることを願っております。

北海道ブロック世話人 志田 雅彦

## 2020 年度全国処方調査中間報告 調査委員会

昨年10/31に実施した処方調査では、全国より、多くの貴重なデータをご提供頂きました。業務繁多にもかかわらず調査にご協力頂きました先生方、本当にありがとうございました。

## 調査背景

## 集計結果

	参加施設数	データ数	平均年齢
入院	75施設	9,517症例	59.0歳
外来	49施設	5,598症例	51.4歳

※抗精神病薬「プレクスピラゾール」「プロナセリンテープ」は除外。(換算値が公表された後に再集計予定)

	平均処方剤数	平均投与量 ± 標準偏差	単剤処方率
入院			
抗精神病薬	1.6±0.9 剤	688.5±762.6mg (CP 換算)	44.8%
抗パーキンソン薬	0.4±0.6 剤	0.9±1.6mg (BP 換算)	
抗不安薬・睡眠薬	1.1±1.0 剤	8.0±14.0mg (DAP 換算)	

	平均処方剤数	平均投与量 ± 標準偏差	単剤処方率
外来			
抗精神病薬	1.4±0.7 剤	527.4±750.7mg (CP 換算)	56.8%
抗パーキンソン薬	0.4±0.6 剤	1.0±1.6mg (BP 換算)	
抗不安薬・睡眠薬	1.1±1.1 剤	9.4±15.2mg (DAP 換算)	

## 【発表予定】

本年8/21・22、福岡で開催される第5回日本精神薬学会学術集会において、6演題発表いたします。多くの先生方にご参加いただき、活発にご討議いただければと思います。

## 2020 年度下期の活動状況

テーマ: 双極性障害の病態、診断、治療

ブロック	開催地	開催日	特別講演	追加プログラム (病院紹介/ショートレクチャー)	参加人数
北海道	札幌	1月23日	岡本長久(札幌鈴木病院)	高橋満里(平松記念病院)	23
東北	仙台	3月25日	國井泰人(東北大学災害科学国際研究所)	藤田布美子(おとめがわ病院)	54
関東・甲信越	東京	3月14日	井上敦子(東京女子医科大学医学部)	坪井貴嗣(杏林大学医学部)	42
	大宮	2月28日	岡安寛明(獨協医科大学)	加藤 剛(所沢慈光病院)	25
	千葉	2月28日	山中浩嗣 (千葉県精神科医療センター)	南出直之(船橋北病院)	渡部和幸(亀田総合病院)
東海	名古屋	2月21日	森 康浩(愛知医科大学医学部)	宮浦淳一(八事病院)	27
北陸	金沢	3月14日	岡 敬(十全病院)	—	33
近畿	大阪	1月17日	白川 治(近畿大学医学部)	岩井礼子(阪本病院)	66
中国・四国	広島岡山	3月21日	小野晴久(港町クリニック)	山田雅彦(草津病院)	35
	松山	2月21日	伊賀淳一(愛媛大学大学院)	大野茂知(宇和島病院)	24
九州	福岡	3月7日	堀 輝(北九州古賀病院)	堀 輝(北九州古賀病院)	52
	沖縄	3月21日	高江洲義和(琉球大学大学院)	大城舞子(平安病院)	15

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

## 2020 年度下期近畿ブロック講演会を開催して

2021年1月17日、PCP研究会のブロック講演会としては初めてのWEB講演会を近畿ブロックで開催しました。いつもであれば参加者の皆様とコミュニケーションを取りながら、和やかな雰囲気で行っていきませんが、今回はいつもとは異なり、少し緊張感の漂う中での講演会となりました。途中、映像や音声のトラブルがあったものの、何とか最後まで実施することができました。参加者からのアンケートでは、WEBでの開催方法は概ね好評でしたが、グループワークを実施する通常開催を望む声も多く寄せられました。今後もより良い講演会を開催できるように努力していききたいと思います。

近畿ブロック世話人 宮原 佳希



## 病院紹介コーナー 一般財団法人創精会 松山記念病院

松山記念病院があります四国愛媛、松山といえば道後温泉、坊ちゃん、正岡子規・・・歴史と文化の街、愛媛のゆるキャラ“みきゃん”が大活躍しています。気候穏やか、柑橘、瀬戸内小魚などなど、ぜひ皆様のんびりとお越し頂きご賞味下さい。



正式名称は一般財団法人創精会松山記念病院、記念は Kinen と標記します。昭和7年、篤志家により松山脳病院として設立され、平成4年施設名称を松山記念病院としました。愛媛県には国公立の精神科病院が設立されることなく、当財団が様々な役割を担って参りました。許可病床数は長らく743床でしたが、現在693床、入院患者数500名、1日外来患者数220名、外来処方せん枚数140枚前後を推移しています。法人理念に謳う“いつでも”、“安心”して受診して頂けるように“心のこもった”医療を提供しています。併設施設として精神科・重度認知症デイケア、訪問看護ステーション、相談支援事業所・地域活動支援センター等があります。入院機能は精神科救急、認知症・老年性精神疾患、精神一般、特殊疾患病棟で構成されており、外来診療は精神科一般外来に加えて依存症、児童思春期、認知症といった専門的な診療も行っています。

薬剤師9名が各々1～2病棟を受け持ち、精神一般病棟344床のみならず、精神科救急病棟120床にも担当薬剤師がいます。“担当”には対人交渉力、自主性が求められ、責任感と充実感が芽生えます。薬剤管理指導に加えて入院・外来リハビリテーション、心理教育など様々な診療に参加し、その展開は令和3年度電子カルテ、院外処方せん発行の同時稼働により、さらなる充実が期待されています。

当院の薬物治療は少しずつ変化しました。20年間で例えば一人当たりの抗精神病薬力価が30%減少、単剤率は3倍に増加、錐体外路障害治療薬併用率は30%減少しました。時の流れを感じますが、数字のみにとらわれず、効果、有害性、生活の質など多面的な視点から、一人ひとりの患者の有益性を高めることができるように努めています。

細々とではありますが、薬学実務実習、早期体験学習、中学生職場体験等を積極的に受け入れることで社会に貢献するとともに、指導することで我々自身学ぶことも多く勉強させて頂いています。



2021年もコロナ禍にあります。禍がもたらすところへの影響を少しでも軽減できるよう、お互い口もと見えなくても、目は口ほどに物を言い、醸し出す良い雰囲気はきつと効果を増大させます。

URL <http://www.souseikai.jp/>

一般財団法人創精会 松山記念病院 梅田 賢太

## 医療従事者への新型コロナワクチンの優先接種について

皆様もご存じの通り、2021年3月より医療従事者への新型コロナワクチンの優先接種が始まりました。ワクチンの量が限られる中、大阪府では3月8日より新型コロナ患者様を受け入れている78施設から接種が開始されました。当院でも精神疾患を抱える新型コロナ患者様を受け入れており、事前に大阪府との入念な打ち合わせを行った上で3月9日から職員への接種を開始しました。今のところ懸念されていた重篤な副反応は見られていません。まだ接種が終わっていない施設もあると思いますが、感染対策とワクチン接種でコロナ禍を乗り越えましょう。

近畿ブロック世話人 本多 智子

## 今後のブロック講演会に関して

令和2年度のブロック講演会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンラインでの開催に切り替えましたが、令和3年度も引き続きオンラインでの開催になります。そこで、ブロック単位での開催ではなく、各ブロックによる持ち回りでの開催形式に変更することになりました。令和2年度のオンライン講演会では、普段皆様が参加されているブロック以外の講演会にご参加いただいた方もいらっしゃいましたが、令和3年度もオンラインの強みを活かし、遠方のブロック講演会にご参加いただくことができます。現在決定している日程、開催ブロックですが、6月24日(木)または25日(金)に北海道ブロックによる開催、8月29日(日)に東北ブロックによる開催の予定です。講師等、詳細が決まり次第、ホームページでお知らせしますので、もうしばらくお待ちください。

中国・四国ブロック世話人 北川 航平

## 第5回日本精神薬学会総会・学術集会のご案内

2021年8月21日～22日、福岡市で開催される第5回日本精神薬学会総会・学術集会は、現地開催を目指して大会長の神村英利先生、実行委員長の木藤弘子先生を中心に、現在準備中です。今回のメインテーマは「Leap～With thanks to our forerunners」。先駆者たちに感謝しながら先に進もう、飛躍しようという思いが込められています。メインテーマに沿ったシンポジウム「精神科薬剤師の過去、現在、未来」や、連携、COVID-19に関するシンポジウムを予定しています。また、3月24日より一般演題の募集も始まりました。一人でも多くの皆様のご参加を博多でお待ちしています。

九州ブロック世話人 柴田 木綿



### 事務局 掲示板

#### ■ 2021年度会費 (2021年4月～2022年3月分、年会費：3000円)

年会費は、年度初めに郵送いたします振込用紙にてご納付ください。未納の場合、WEB講演会での単位シール等の取得が出来ない場合がございますのでご注意ください。参加される講演会開催前までにお振り込みをお願いいたします。

【郵便局】口座名：精神科臨床薬学研究会 口座番号：00170-2-578959

\* 通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。

(会員番号が不明な方は、メールで事務局 (contact@pcp-rg.org) へお問合せください。)

#### ■ 講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ < www.pcp-rg.org > に掲載しております。

#### ■ 特別講演 DVD

2019年度下期、2020年度上期・下期のDVDはございません。バックナンバー(演題はホームページに掲載)の貸出しを希望される方は事務局までご連絡ください。

#### ■ 事務局連絡先

〒113-0031 東京都文京区根津1-4-4 河内ビル5階

株式会社青海社 内

E-mail : contact@pcp-rg.org (メールには必ず、1. 施設名、2. 氏名を記載して下さい。)

FAX : 03-5832-6126 URL : https://www.pcp-rg.org/

### 【編集後記】

新型コロナウイルスの感染拡大から1年が経過しました。私たちの生活様式も大きく変化し、学会や研修会の開催様式もオンラインという新しい方法が導入されました。出張費がかからない、自宅から参加できるというメリットもありますが、でもやっぱり人間だもの、本当はみんなと一緒にワイワイやりたいんですよね。あともう少しの辛抱かな…。

M. K

